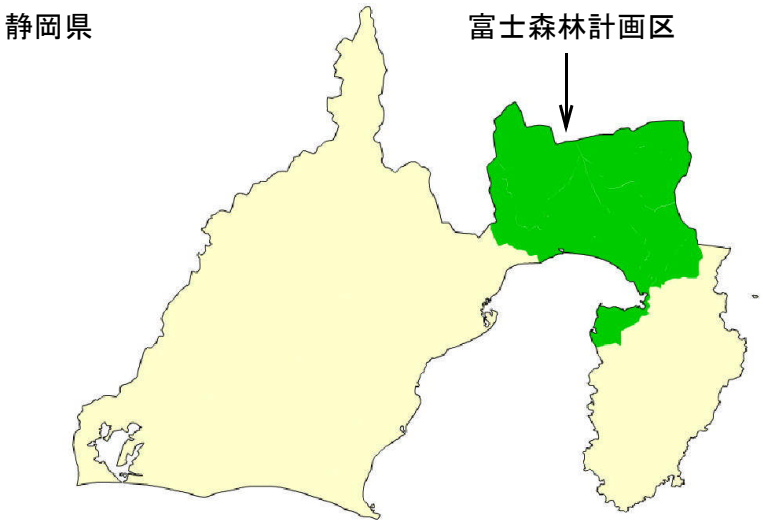
平成22年度に樹立・策定する富士計画区の概要

１　現行計画の概要

富士山



（１）森林計画区の概要

ア　位置

当計画区は、静岡県の東部に位置し、富士市、富士宮市、御殿場市、沼津市、三島市、芝川町、小山町、裾野町、長泉町及び清水町内の国有林野17千haを対象。

イ　国有林の特徴

富士山を中心とした自然観光資源が充実火山灰地質で構成され、緩傾斜な地形が広がる

ウ　森林資源の状況

・天然林が約5千ha、人工林が約9千ha。
・人工林のうち、約６割が間伐期（21年生～55年生）。

（２）現行計画の概要

ア　保護林等

保護林	８箇所	2,535 ha
緑の回廊	２箇所	2,712 ha

イ　レクリエーションの森

自然休養林	１箇所	1,765 ha

ウ　国民参加の森づくり

2000年の森の設定	2,364 ha
協定による国民参加の森	32 ha

エ　伐採・保育事業量

主伐	8,599 m3
間伐	129,181 m3
造林	29 ha
下刈	223 ha
つる切	216 ha
除伐	423 ha

オ　林道の事業量

林道開設	２箇所	2,389 ｍ
林道改良	17箇所	3,650 ｍ

カ　治山の事業量

渓間工	９箇所
保安林整備	358 ha

２　次期計画の基本的な考え方

次期計画では、国土の保全、水源のかん養のほか、国民の皆さんからの期待が高い地球温暖化の防止や生物多様性の保全などにも取り組んでいく考えです。

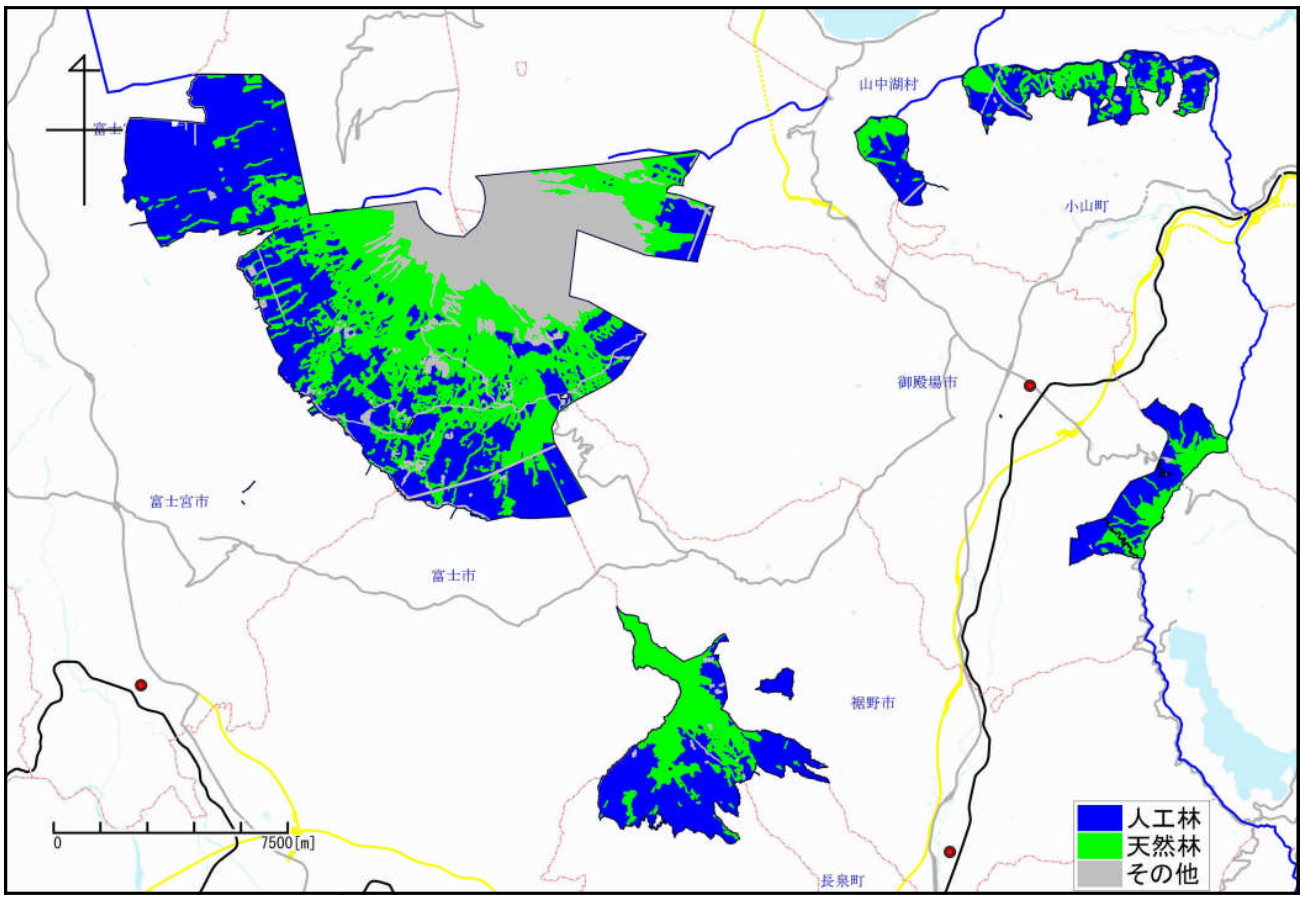
（１）地球温暖化防止のための森林吸収源対策やそれ以外の公益的機能の発揮のため、間伐などの森林整備を推進。
（２）保護林などでモニタリング調査を実施し、今後の保護林などの設定や取扱いに反映。
（３）天然林を保護するため、シカの剥皮被害対策を実施。
（４）ボランティア団体などによる森林づくりへの支援。
（５）治山事業により荒廃地の復旧整備や保安林の整備を計画的に推進。
（６）路網と高機能林業機械を組み合わせた低コスト・効率的な作業の普及。

市町村別森林面積等

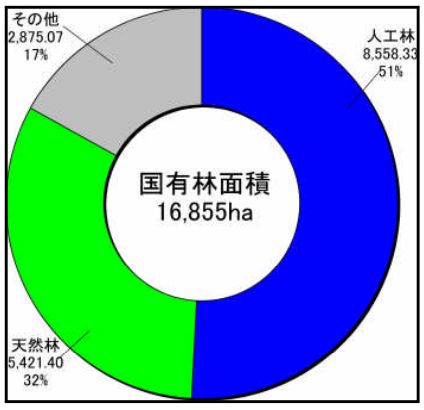
市町村名	町村面積 (ha)	森林面積 (ha)	うち国有林 (ha)	森林率 (%)	国有林率 (%)
三島市	6,213	2,372	―	38	―
沼津市	18,710	8,056	1,274	43	16
裾野市	13,839	7,480	1,200	54	16
御殿場市	19,463	3,723	2,110	19	57
富士市	21,410	8,609	1,915	40	22
富士宮市	31,481	13,051	6,923	41	53
芝川市	7,418	5,432	―	73	―
清水町	884	82	―	9	―
長泉町	2,651	707	340	27	48
小山町	13,613	5,002	3,093	37	62
計	135,682	54,514	16,855	40	31

人工林・天然林

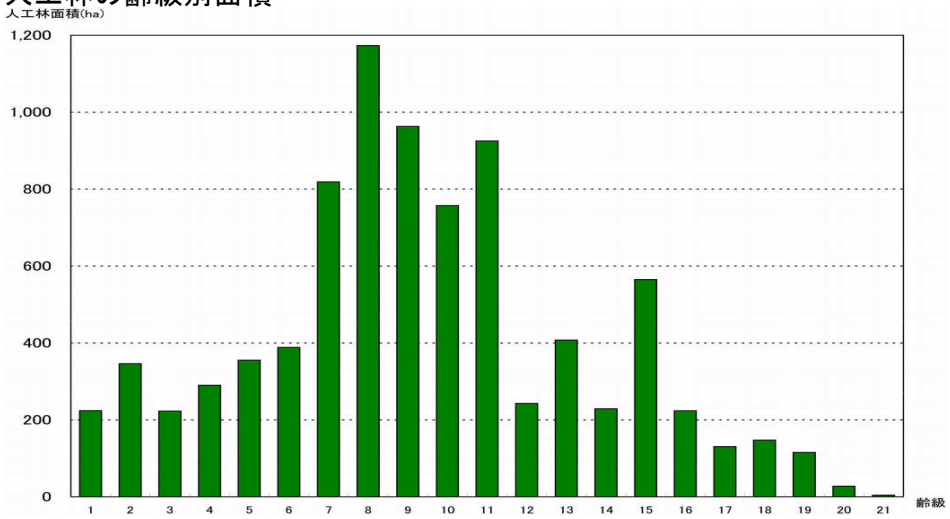
人工林・天然林の分布状況



人工林・天然林別割合



人工林の齢級別面積



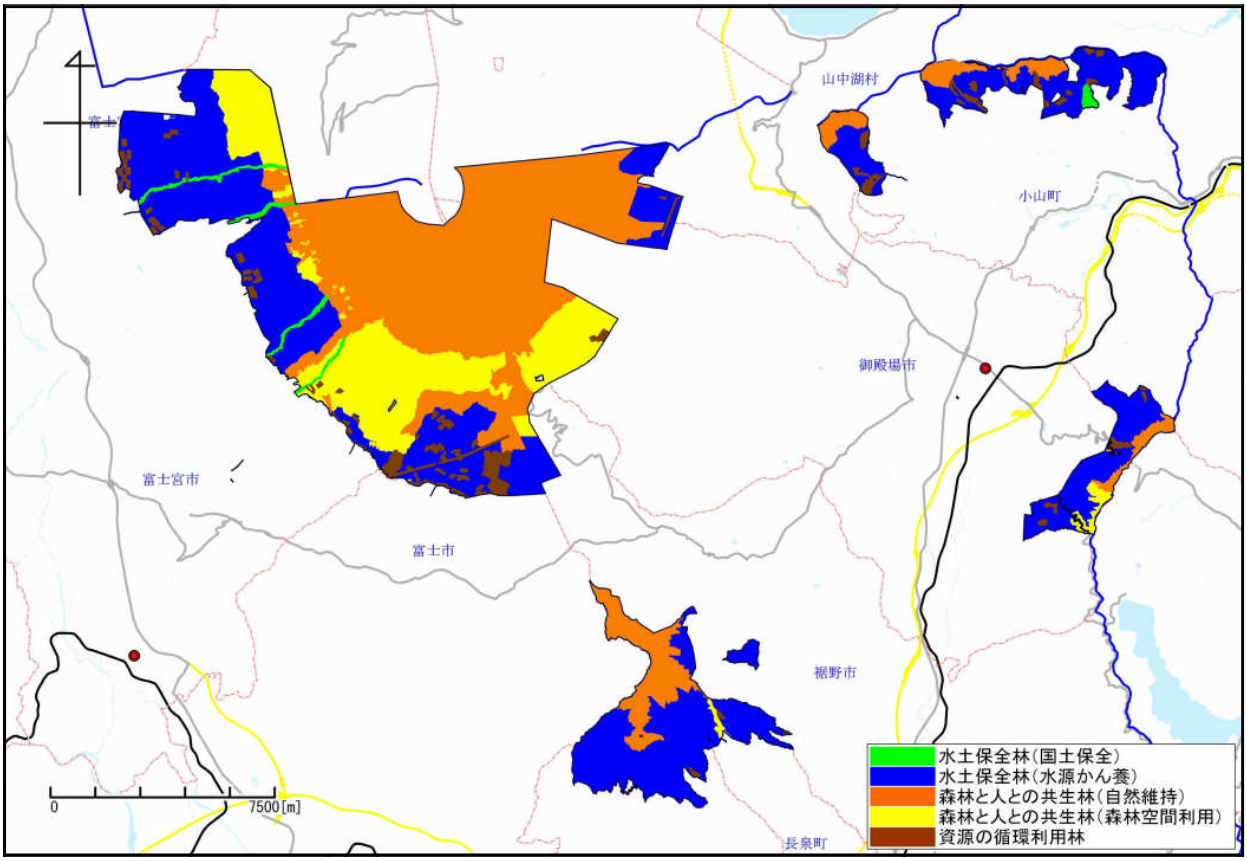
人工林の齢級別では7齢級（35年生）～11齢級（55年生）が多く、間伐の対象となる森林が多いことから、計画的な間伐を実施する必要があります。

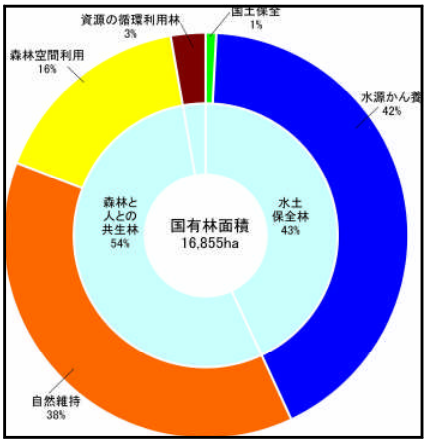
機能類型

機能類型区分について

国有林を水土保全林、森林と人との共生林、資源の循環利用林に区分しそれぞれの機能類型にふさわしい管理経営を推進。

水土保全林	森林と人との共生林	資源の循環利用林
（国土保全タイプ・水源かん養タイプ）	（自然維持タイプ・森林空間利用タイプ）	
目標とする森林の姿		
土砂流出・崩壊の防備、水源のかん養等安全で快適な国民生活を確保することを重視する森林	原生的な森林生態系等貴重な自然環境の保全や、国民と自然のふれあいの場としての利用を重視する森林	環境に対する負荷が少なく、再生産が可能な素材である木材の効率的な生産を行うことを重視する森林
森林の取扱い		
樹根や表土の保全、下層植生の発達が期待される育成複層林施業、長伐期施業等を推進	野生動植物の生息・生育する森林の保護・整備、森林浴や自然観察等保健・文化・教育的な活動の場の整備、自然景観の維持等を推進	森林の健全性を確保しつつ、多様化する木材需給に応じた林木を育成するために適切な更新、保育及び間伐を推進

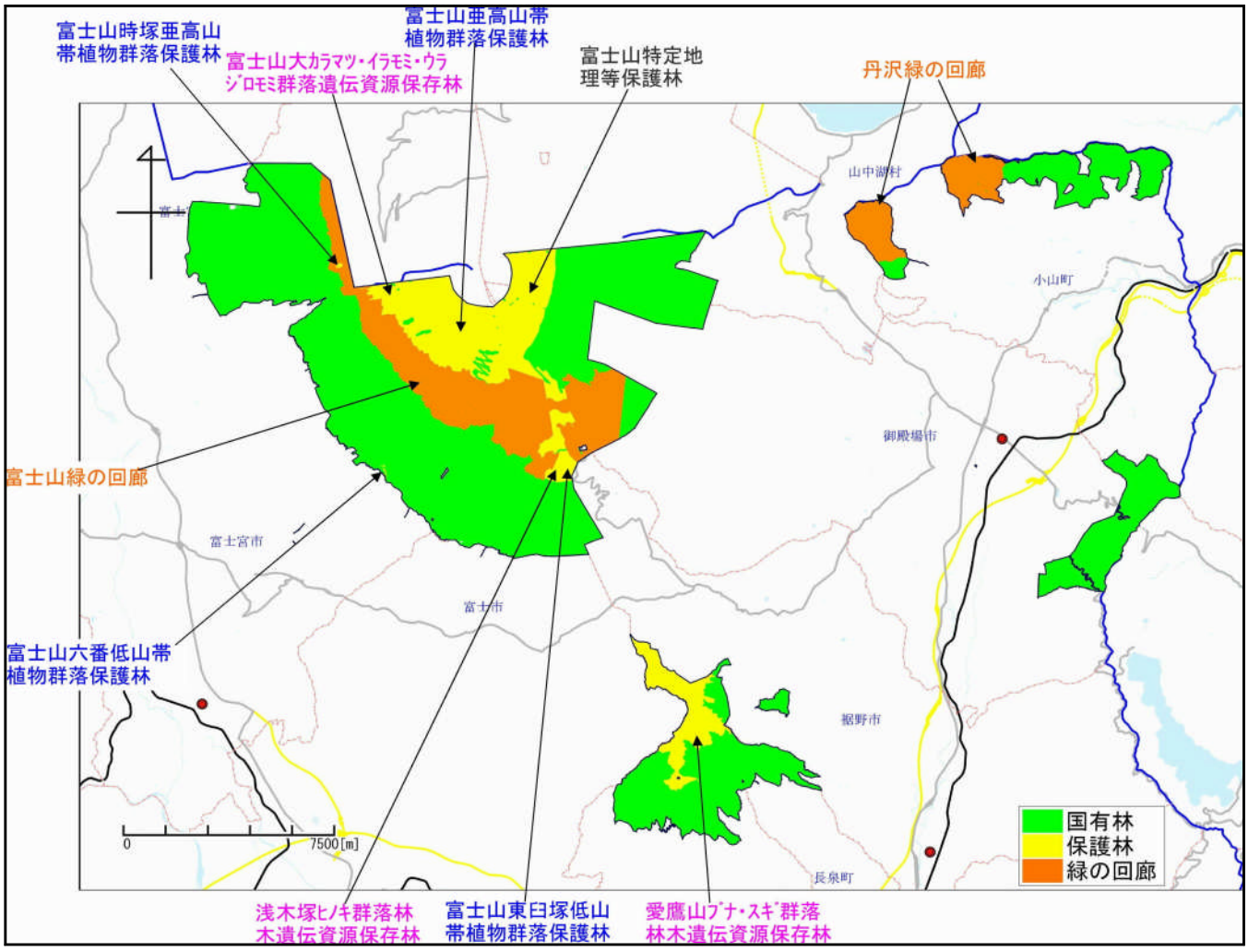




当計画区の機能類型は、水土保全林43%、（国土保全ﾀｲﾌﾟ1%、水源かん養ﾀｲﾌﾟ48%）、森と人との共生林54%（自然維持ﾀｲﾌﾟ38%、空間利用ﾀｲﾌﾟ16%）、資源の循環利用林3%となっています。

富士山の標高約1,600m以上は自然維持タイプ、裾野は水源涵養タイプ、森林区間利用タイプ及び資源の循環利用林となっています。また、大沢崩れや市兵衛沢などの崩壊地は国土保全タイプとしています。

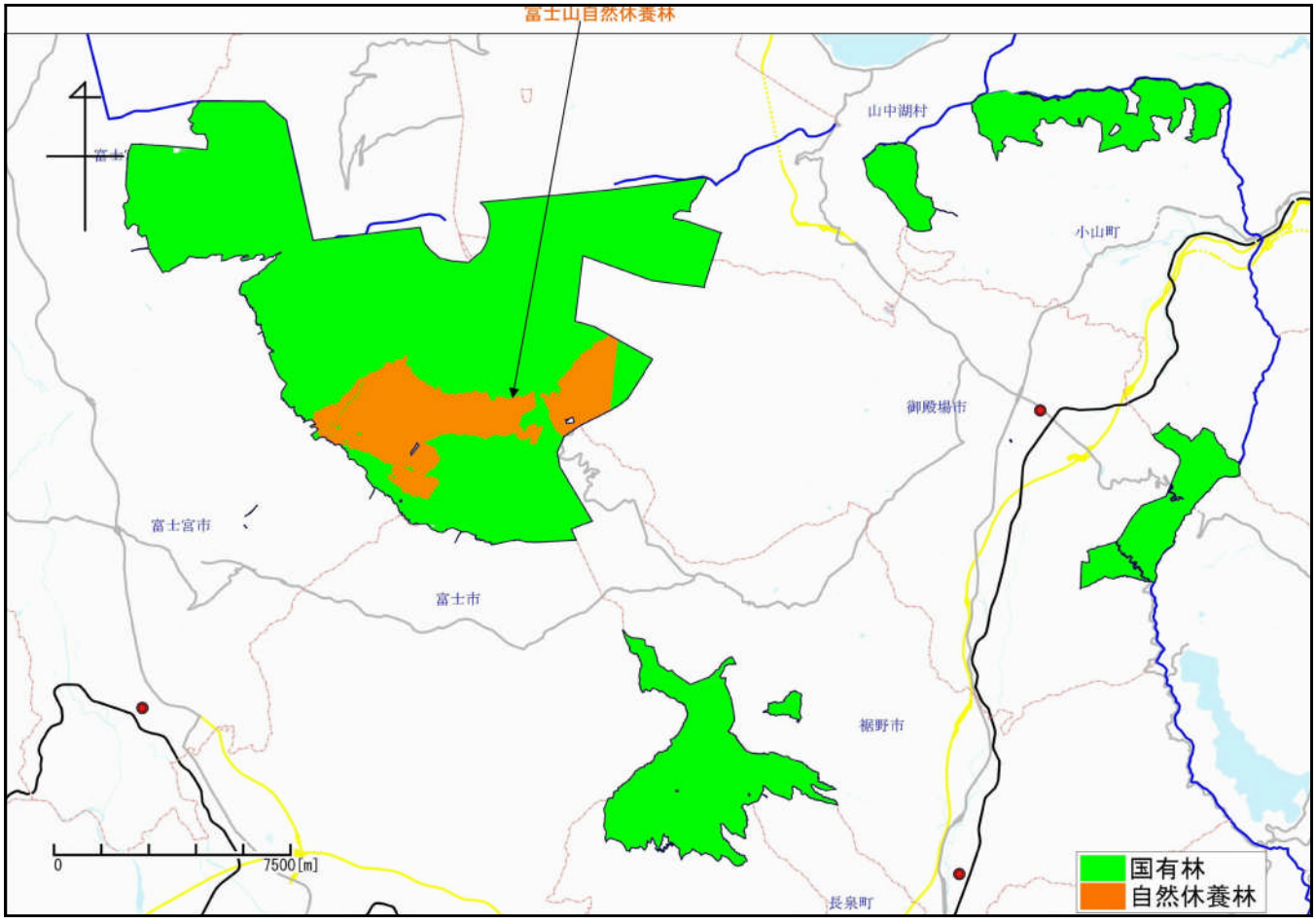
保護林・緑の回廊



名　　称	特　　徴	面積(ha)
林木遺伝資源保存林	主として林木の遺伝資源を保存する	843
植物群落保護林	我が国を代表するものとして保護を必要とする植物群落を保護する	765
特定地理等保護林	我が国における特異な地形・地質を保護する	927
緑の回廊	保護林同士を連結して野生動物の移動経路を確保するとともに生態系の保全を図る	2,712

富士山大ｶﾗﾏﾂ・ｲﾗﾓﾐ・ｳﾗｼﾞﾛﾓﾐ群落林木遺伝資源保存林

レクリエーションの森の概要



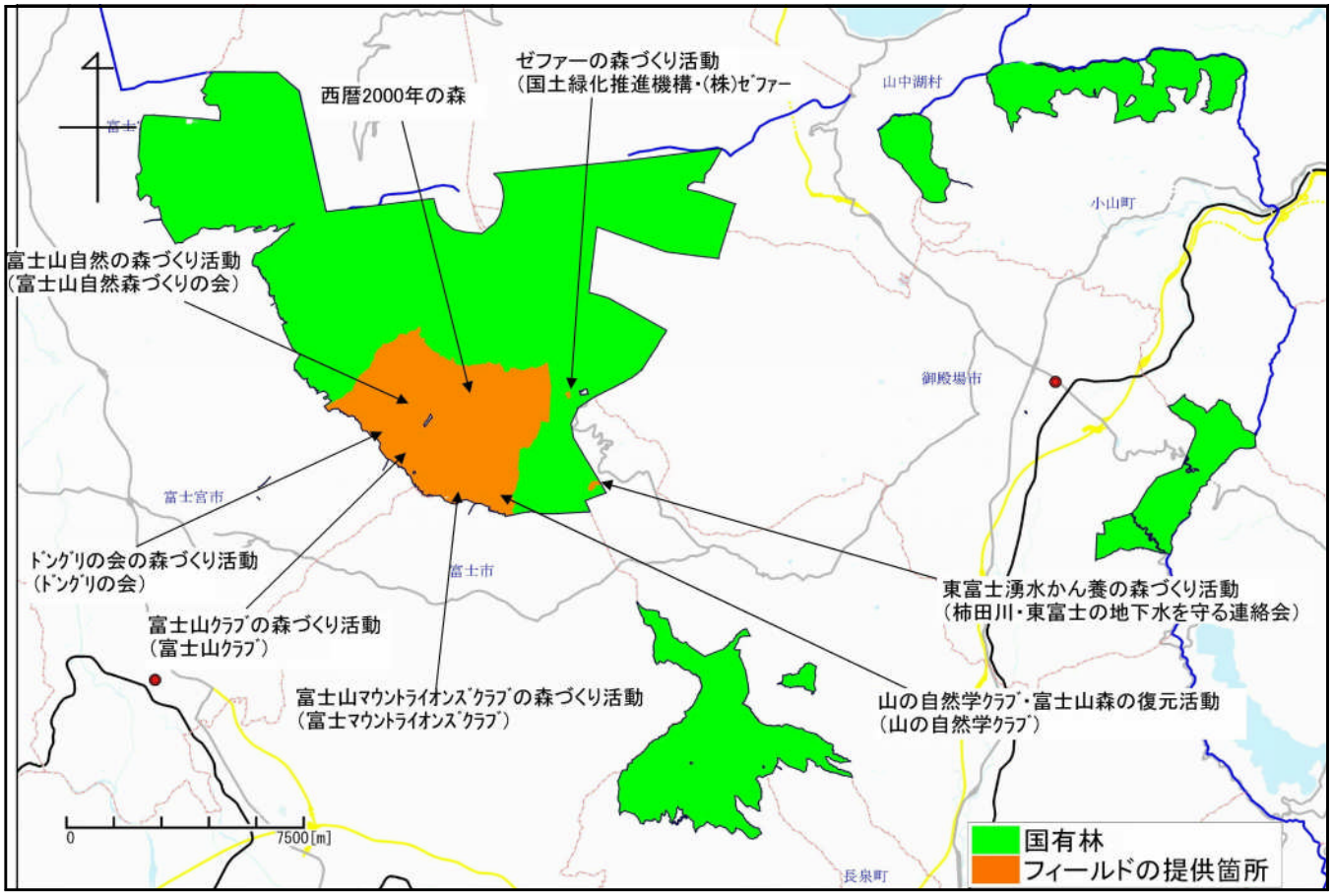
名　　称	特　　徴	面積(ha)
自然休養林	人と森林とのふれあいの場としてゾーン分けした地域	1,765

富士山自然休養林

国民参加の森づくり

森づくり活動や森林とのふれあいの場として各団体にフィールドの提供を行っています。

①西暦2000年の森　　2,364ha
②協定方式による国民参加の森　　32ha



東富士湧水かん養の森づくり活動の様子
（柿田川・東富士の地下水を守る連絡会）